

ありがとうの灯中

学校便り第21号
令和7年12月15日
福井市灯明寺中学校



先日3年のある担任の先生がとても嬉しそうな顔で、「校長先生、これを見てください」と私のところに来ました。先生が担任している男子生徒が、生活ノート（ライフ）に書いた言葉を見せてくれたのです。そこには、「今日の宿題も答えを見ずにした。自分がわからなかったところも、解説を見て解答を書いた。今では、できなかったところができて、とてもうれしかった。その時、勉強が楽しいと思えた。」とありました。（原文通り）

先月の学校便りで「みなさん、勉強（自分磨き）していますか？」と問いかけましたが、早速このような実践の報告が届いたことに、私は大きな喜びを感じました。

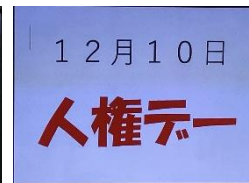
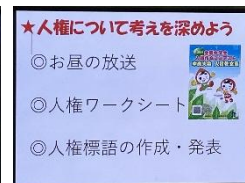
この男子生徒が、勉強の意味と楽しさを素直に体感できたことはもちろんですが、それ以上に、担任の先生が生徒との大切な交換日記（生活ノート）をわざわざ私に見せに来てくださり、子供たちの成長を共に喜ぶことができたことが何よりも幸せで、実に心温まる瞬間でした。

私たち教師の使命は、子供たちが人としてより大きく、心豊かに、たくましく成長することを支えることです。この男子生徒は、自分と向き合い、「甘えていた自分」を乗り越えようと努力し、その結果、「新しい発見」をしました。まさに「成長」の瞬間です。同時に、これこそが私たち教員のやりがいであり、教育の尊さだと改めて感じます。この想いを抱かせてくれた、この男子生徒に、心から「ありがとう」と伝えたいと思います。

私自身、この学校で校長として勤務できるのは残り3か月ほどです。学校が、そして、生徒の皆さんが、今年のテーマ「脱皮」から跳ね馬のごとく「飛躍」できるよう、最後まで努力していきたいと思います。残りわずかの「令和7年度」を共に頑張りましょう！Do our best!! 福井市灯明寺中学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

<全校道徳(人権)>

12月4日(木)の6限目、生徒会主催の全校道徳を実施しました。12月の人権週間に合わせて、人権について皆で考える時間を持ちました。いじめ・差別・暴力など、人の心や命を無視する行為は決して許されません。相手を思いやり、互いの良さを認め合える、心豊かな社会を目指していきましょう。



<避難訓練(不審者)>



12月8日(月)の6時間目に、不審者対応の避難訓練を行いました。2001年に大阪教育大学附属池田小学校で起きた無差別殺傷事件を決して風化させないために、警察の方の協力を得て、できる限り「リアルさ」を重視した訓練としました。避難訓練は「いざというとき」に、適切に行動したり対応したりできるようになるために実施します。ぜひ今回学んだことを大切に心に留めておいてください。訓練こそ命です。

<北陸銀行寄贈式>

12月12日(金)の放課後、北陸銀行二の宮支店長の山田哲也様が来校され、生徒会や委員会活動等で生徒の皆さんが活用できるよう、パソコン一式、一眼レフカメラ、ドローン機等たくさんの品物を寄贈してくださいました。代表として生徒会長の佐々木君が受け取り、感謝の言葉をお伝えしました。今後様々な場面で有効に活用していきましょう！感謝です！！

